

60
years

要約版

第108回 定時株主総会

平成24年9月27日

株式会社 アルバック

①事業の経過及び成果

経済の状況

▶ 日本

- ◆ 東日本大震災からの復興需要やシニア層を中心とした個人消費などが内需を牽引し、緩やかな持ち直しの動きが見られた
- ◆ 欧州債務危機の影響や電力不足懸念など不安要素も多く、依然として厳しい状況のまま推移

▶ 米国

- ◆ 失業率の低下に加え、個人消費や住宅着工が持ち直すなど、緩やかながらも回復に向けた動きが見られた

①事業の経過及び成果

経済の状況

▶ 欧州

- ◆ 一部の国々で債務危機や失業率の上昇など、景気は足踏み状態で推移

▶ 中国

- ◆ 景気は拡大しているもののテンポは緩やか

①事業の経過及び成果

市場環境

▶フラットパネルディスプレイ(FPD) 業界

- ◆大型テレビ市場の低迷で、大型液晶テレビ用の設備投資が停滞
- ◆スマートフォンやタブレットPCなどのモバイル機器の販売が好調に推移
- ◆アジア地域を中心に中小型液晶ディスプレイや有機ELディスプレイの設備投資は堅調に推移

▶半導体業界

- ◆引き続きPC用需要は低迷
- ◆スマートフォンやタブレットPCなどのモバイル機器の需要増加で市場は比較的堅調に推移

①事業の経過及び成果

市場環境

▶ エネルギー・環境関連

◆ 温暖化ガス排出量削減

「エネルギー・デバイス」

太陽光発電

エコカー
(ハイブリッドカー
・電気自動車)

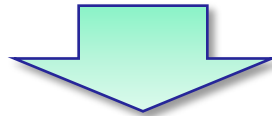
パワー半導体

二次電池

▶ 「エネルギー・デバイス」の需要が引き続き堅調

▶ 企業価値向上に向けた運動

- ◆ FPD、半導体製造装置など既存商品の商品競争力アップ
- ◆ 他社製品と差別化したダントツ製品の開発
- ◆ 単純化・共通化・標準化の3S運動の徹底及び推進
- ◆ グローバル化のさらなる推進



これらの中長期の施策として開始

経営環境への対処

▶収益面での厳しい状況

- ・お客様からの継続的な価格引き下げ圧力
- ・円高
- ・アジアの製造装置メーカーとの厳しい価格競争

▶収益増への取り組み

◆固定費圧縮

- ◆グループ全体での諸経費削減の徹底、設備投資の抑制など

◆生産改革を推進

- ◆韓国、台湾、中国における生産拠点の充実
- ◆現地調達率のアップなどグローバル化に最適な生産体制の構築を推進し、コスト競争力の向上を図る

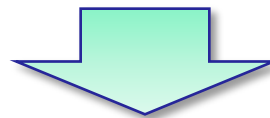
①事業の経過及び成果

経営環境への対処

■ 極めて厳しい受注環境による収益悪化への対処

緊急対策の実施

- 役員報酬カット (50%～30%)
- 管理職給与一部カット(10～5%)
- 一時帰休の実施など (月2回、6ヶ月)



更なる固定費の削減を図る

①事業の経過及び成果

経営環境への対応(事業構造改革第1弾)

- 厳しい市場環境下で収益の確保が困難

「事業構造改革プラン」を策定

事業構造改革(創立以来初)の実行

- ◆ 高収益が期待できる成長分野の「見直し」を図る
- ◆ 資産、人員等のシフトと固定費の大幅削減による「スリム化」を断行

加えて

さらなる競争力と企業体質の強化を図る

「事業構造改革第1弾」を実施

- ・固定費などの損益のマイナス面を削減

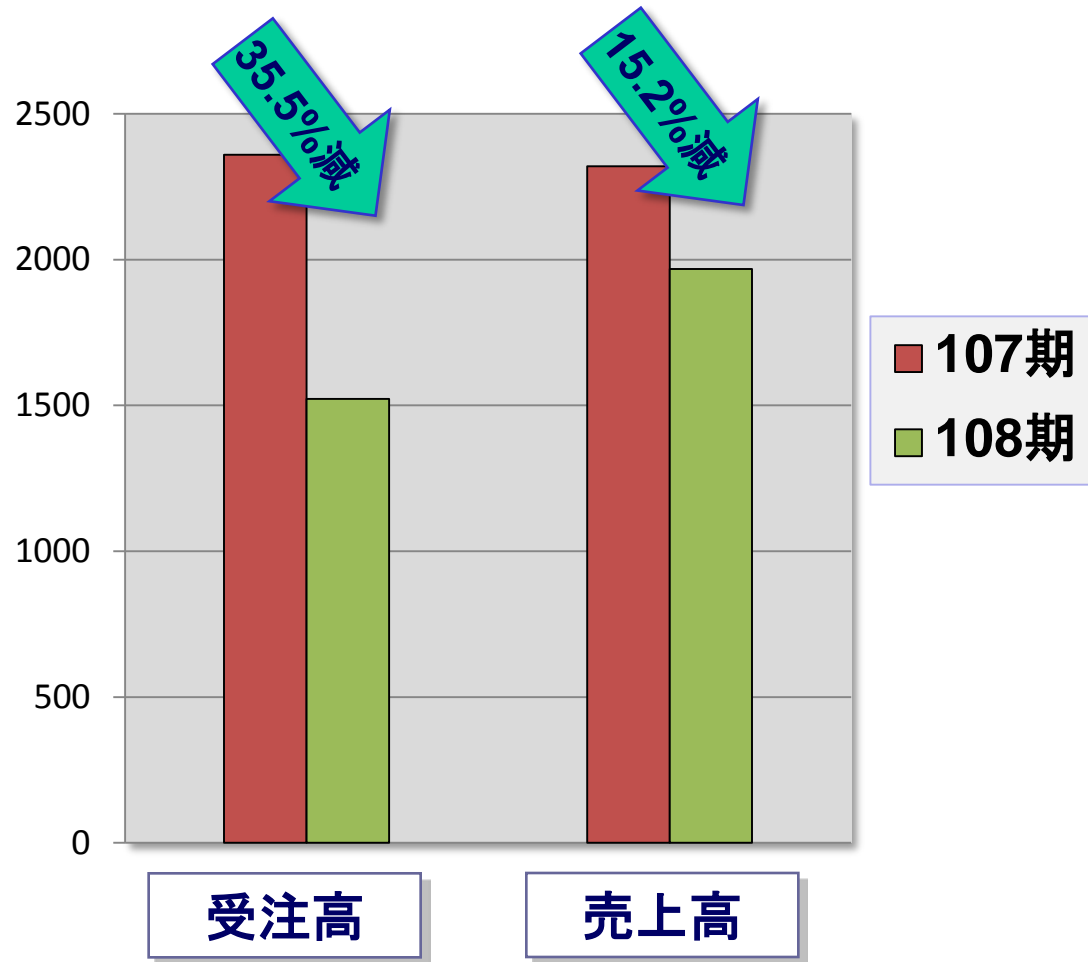
①事業の経過及び成果

第108期業績(連結)

【単位:億円】

受注高

FPD製造装置やPV製造装置の受注減少に歯止めがかからず



①事業の経過及び成果

第108期業績(連結)

【単位:億円】

	第107期	第108期
受注高	2,359	1,522 (-35%)
受注残高	1,109	650
売上高	2,320	1,968 (-15%)
営業利益	19	-64 —
率	0.8%	-3.2%
経常利益	14	-65 —
率	0.6%	-3.3%
特別利益		2
特別損失		274
税金費用		156
少数株主損益		7
当期純利益	-87	-500 —

営業損失

- ・収益性の高いFPD製造装置を中心に売上高が減少
- ・開発要素の高い装置の追加原価の発生の影響

特別損失(構造改革費用を含む)

棚卸資産評価損・除却損 85億円

固定資産除却損 61億円

減損損失 59億円

特別加算退職金等 47億円

繰延税金資産取り崩し 135億円

【()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

①事業の経過及び成果

真空機器事業(1)

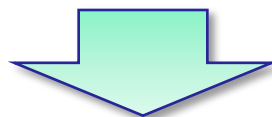
■ FPD製造装置

▶ 売上

- ◆ 大型液晶ディスプレイ用スパッタリング装置
→ アジア地域を中心
- ◆ 中小型液晶ディスプレイ製造用スパッタリング装置、
プラズマCVD装置や有機EL製造装置

▶ 受注

- ◆ 中小型液晶ディスプレイ製造装置 → 日本、韓国向け
- ◆ 有機EL製造装置 → モバイル機器や照明用
- ◆ タッチパネル製造装置



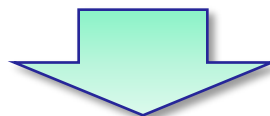
液晶テレビ需要の急激な減少、景気後退の影響で、引き続き低迷

①事業の経過及び成果

真空機器事業(2)

■ 太陽電池(PV)製造装置

- ▶ 中国、韓国向けに化合物系や結晶系太陽電池製造装置を中心に売上を計上
- ▶ 化合物系や高効率結晶系太陽電池製造装置の受注



薄膜シリコン太陽電池製造装置の受注低迷が続き、
総じて非常に厳しい状況で推移



薄膜系
太陽電池製造装置



結晶系
太陽電池製造装置

①事業の経過及び成果

真空機器事業(3)

■ 半導体及び電子部品製造装置

- ▶ スマートフォン、タブレットPCなどの需要が増加
 - ◆ メモリ用スパッタリング装置 → アジア、米国などで売上計上
- ▶ 次世代メモリとして期待
 - ◆ 不揮発性メモリ用製造装置
- ▶ 電力の高効率化や省エネに不可欠
 - ◆ パワー半導体製造装置
- ▶ 照明、LCD用バックライトのLED需要が急速に減速
 - ◆ LED製造用エッチング装置、成膜装置 → 受注、売上が減少



スパッタリング装置
ENTRON™-EX
シリーズ



スパッタリング装置
SRHシリーズ



エッチング装置
NEシリーズ

①事業の経過及び成果

真空機器事業(4)

■コンポーネント

▶大型液晶ディスプレイ関連の投資計画延期の影響

→ FPD製造装置用のドライポンプなどの受注が引き続き低迷

▶有機EL製造装置用のクライオポンプや計測機器関連

→受注、売上が堅調に推移



ドライポンプ



クライオポンプ



計測機器

①事業の経過及び成果

真空機器事業(5)

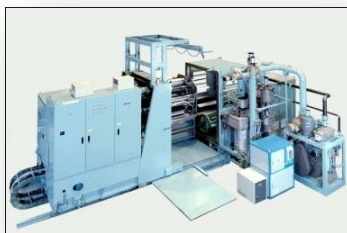
■ 一般産業用装置

- ▶ 中国において希土類磁石製造用真空熱処理炉や真空溶解炉、自動車部品用真空蒸着装置

→ 受注、売上が堅調

- ▶ タッチパネル関連(巻取り式スパッタリング装置)の設備投資が一巡

→ 総じて厳しい受注環境



巻取式蒸着装置
EWEシリーズ



巻取式
スパッタリング装置
SPWシリーズ



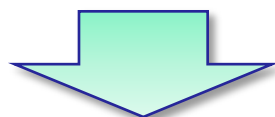
真空熱処理炉
FHHシリーズ

真空応用事業(1)

■ 材料・部材

▶ 液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲット材料

- ◆ アジア地域を中心に受注、売上を計上
- ◆ 製造装置とのソリューションビジネスを積極的に展開



主要パネルメーカーの大幅な減産や販売価格引き下げ圧力が強く、厳しい経営環境



液晶ディスプレイ用
スパッタリングターゲット材料

①事業の経過及び成果

真空応用事業(2)

■ その他

▶ 制御システム関連

◆ メタル、自動車業界向けの設備投資が回復基調

◆ 新製品投入

→ 受注、売上が増加

▶ 分析機器関連

◆ 日本の民間企業や欧米の大学などの研究施設向けの
売上を計上

▶ マスクブランク事業

◆ 受注、売上とも堅調に推移

■ 経済状況

▶ 日本経済

- ◆引き続き緩やかな持ち直しの動きに期待
- ◆外需の減少や円高等下振れリスクが存在

▶ 世界経済

- ◆欧州債務危機や中国、インドなど新興国の成長率の鈍化
- ◆景気に減速感が広がる

(4) 対処すべき課題 今後の見通し

■ 市場の状況(1)

▶ FPD業界

- ◆ 大型テレビ市場の低迷が続き、大型液晶ディスプレイの投資計画が次々に延期
- ◆ スマートフォン、タブレットPCなどの需要が堅調に推移
- ◆ 中小型液晶ディスプレイや有機ELディスプレイの設備投資が継続すると予想



予断を許さない
厳しい状況が継続



景気後退の影響を受け、受注環境は非常に厳しい状況

▶ 半導体業界

- ◆ DRAMやNANDフラッシュメモリなどのメモリへの投資が引き続き低迷

▶ 電子部品業界

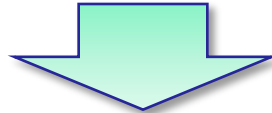
- ◆ スマートフォンやタブレットPCなどのモバイル機器向けなどの高機能デバイスの需要が新たに形成され、期待がもたれる

(4) 対処すべき課題 今後の見通し

■ 市場の状況(2)

▶ PV業界

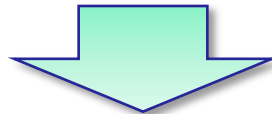
- ◆ エネルギー政策の転換によって、期待がもたれる
- ◆ 中国メーカーの過剰生産、欧州市場の低迷
→ 太陽電池メーカーの倒産が相次ぐ



投資環境は当面の間、厳しい状況が続くと予想

▶ エネルギー・環境ビジネス

- ◆ ハイブリッドカー・EV関連が堅調に推移
- ◆ 高輝度LED、パワー半導体、有機EL照明など



「エネルギー・デバイス」は、中長期的な成長を予想

■ 創業以来初の事業構造改革

▶ 筋肉質の会社へ

- ◆ エレクトロニクス産業の特徴である設備投資の大きな波に耐えられるような筋肉質の会社に



創立以来初の事業構造改革を実行

- ◆ 今後の高収益が期待できる成長分野への事業の「見直し」を図る



- ◆ 資産、人員等のシフトと固定費の大幅削減による「スリム化」を断行



- ◆ 今後、競争力と企業体質のさらなる「強化」に取り組む

(4) 対処すべき課題

事業構造改革プラン

- 聖域なき構造改革で業務、組織、意識を変革
- 低収益体質から脱し、新生アルバックとして、引き続き企業価値向上に努める

(1)「見直し」「スリム化」で今後の成長分野へとリソースを絞り込み、固定費を下げ、商品・コストの両面からさらに競争力を向上



粗利を改善しながら売上拡大をめざす

◆商品競争力を強化:

他社製品と差別化したダントツ製品の開発を推進

◆コスト競争力を強化:「3S」とグローバル化を推進

(4) 対処すべき課題

事業構造改革プラン

- 低収益体質から脱し、新生アルバックとして、引き続き企業価値向上に努める

(2) 事業構造改革を推進

: 意識改革による企業体質の「強化」

- ◆ 製品価値相応の価格決定と交渉で利益の確保をめざす
- ◆ 迅速な顧客対応を可能とする販売体制を構築

当社グループでは、「事業構造改革プラン」を着実に実行することで、安定した収益を計上することができる企業体質とし、収益の早期回復を実現するよう努めてまいります。

決議事項

第1号議案

定款一部変更の件

- ・種類株式発行に備えた変更
- ・株主総会及び取締役会の招集及び議長に関する規定の変更 他

決議事項

第2号議案

第三者割当によるA種種類株式発行の件

第3号議案

資本準備金の額の減少の件

第4号議案

取締役7名選任の件

第5号議案

監査役1名選任の件

本日は、まことに ありがとうございました。

ULVAC

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。